

あなたと家族の笑顔のために—

# 乳がん検診を受けましょう

Q

乳がん検診の目的は？

A

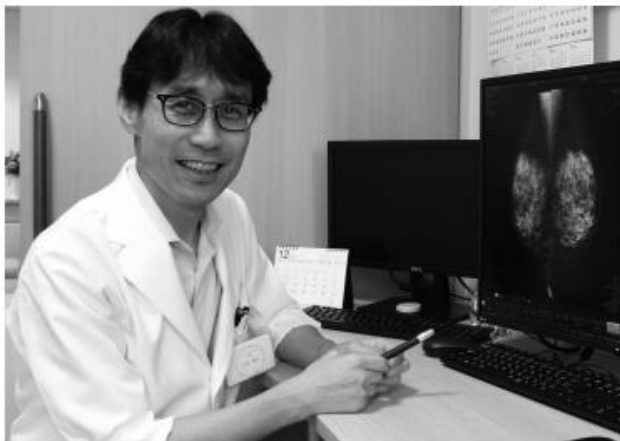
ずばり、「乳がんで亡くなる人を減らすこと」です。乳がんは、早期に発見すれば治る確率が高くなり、比較的簡単な方法で短時間で治療できる可能性があります。また、検診を受けることで「今現在乳がんになっていないこと」を確認できれば、不安な気持ちも軽くなるでしょう。

Q

どのくらいの人が乳がん検診を受けているの？

A

厚生労働省が実施した「平成28年国民生活基礎調査」をもとに、国立がん研究センターがまとめた資料では、乳がん検診の受診率は44.9%でした。これは、40～69歳の女性で健康診断・健康診査・人間ドックでマンモグラフィや乳房超音波検査などを受けた人の割合です。



はつかいち乳腺クリニック (佐伯地区医師会)  
川瀬 義治 先生

Q

どんな検査を受けたいの？

A

乳がんを発見するための検査にはさまざまなものがあります。これだけを受けておけば良いという検査は今のところありません。現時点で、乳がんによる死亡の危険性が減ることが証明されている検査は、マンモグラフィです。40歳以上の女性には、まずマンモグラフィを受けることをお勧めします。しかし、マンモグラフィだけでは発見できない乳がんもあります。そこで、乳房造影MRI検査や超音波検査、乳房トモシンセシス（乳房を数十枚の薄い画像で立体的に映し出して診断する）などの検査を追加することが試みられています。

## まずは相談をして、検診を受けましょう

遺伝性乳がんの検査を受けて遺伝子異常が見つかった人、検査は受けていないけれど遺伝性乳がんが心配な人、「高濃度乳房」のような乳がんを見つけにくい乳房の人、「絶対マンモグラフィはいや！」という人、乳がん検診に気が進まない人など、一人ひとりの状況や考え方はさまざまだと思います。

多様性が求められるのは、乳がん検診も例外ではありません。まずは相談をして、自分に合った乳がん検診のスタイルを見つけてみてください。

## ～市からのお知らせ～

9月9日(日)に、川瀬先生たちによる、乳がんに関する講演会を開催します。詳しくはP.17を確認してください。

## 佐伯地区医師会 (ホームページ <http://saikima.jp/>)

佐伯地区医師会は、廿日市市・江田島市で開業または勤務している医師で構成されている地域医師会です。日本医師会や広島県医師会と協力しながら、地域に密着した医師会として約15万人の地域住民の健康を守るため、学校医、産業医、健診、救急医療、在宅医療などさまざまな仕事をしています。

なるほど  
健康講座

問い合わせ

健康推進課 ☎ 16110